

躍動

第9号

令和元年
11月15日発行
企画広報委員会編集



TOHOKU GAKUIN UNIV.
スポレク

(躍動・本間良一前会長書)



学長就任に際してTGスポーツに対する期待

東北学院大学 学長 大西晴樹

4月に東北学院大学第6代学長を拝命しました大西晴樹です。前職は明治学院大学経済学部西洋経済史担当教員として37年間教鞭を執ってきました。その間、経済学部長、学長、院長を都合10年間歴任してまいりました。

私のスポーツ歴と言えば、出身が北海道のせい、スキー板は子供のころから下駄のように身に着けてきましたので、学生時代新潟県六日町のユースホテルでスキーコーチのアルバイトを2シーズン通して経験したことがあり、その時に全日本スキー連盟の検定1級に辛うじて合格したのが唯一の勲章のようなもので、もっぱら観戦する側の人間です。大学教員としては、ゼミの学生から頼まれてサッカー・サークルの俗にいう「ハンコ顧問」を長年。これまたゼミの卒業生に土下座して頼まれて第2部体育会スキューバダイビング部の部長を10年ほど。スキューバの部長は、深海における学生の生命にかかわる活動なので、私自身一度も潜ったことはないとはいえ、「ハンコ顧問」という訳にはいかず、活動計画を練る際には一緒に参加して安全面を確認してきました。そして経済学部長時代に、1年後に退職を控えた体育の教授に頼まれて体育会アメリカンフットボール部「セインツ」の部長を2年間経験させてもらいました。毎試合アメフトのピッチに立つことができ、試合中の選手の荒々しい息遣いと（選手を鼓舞する）監督の怒号を聴くことができました。関東第3部に低迷していた「セインツ」は第2部に昇格し、いざこれからというときに、学長に就任したので、すべての体育会の部活動を公平に統括する立場ゆえに部長を辞任しました。「セインツ」は現在、第1部を窺うほどの実力です。

4月に着任して感じることは、東北学院大学には、前職にはない立派な体育施設と、スポーツ推薦制度をもっています。それだけでも私にとっては、無限の可能性を感じさせる出来事です。着任後、多くの大学が加盟するUNIVAS（ユニバス）の学長会議に出席するなどして、体育会活動の在り方についてある種の確信をもつようになりました。すなわち、キリスト教による人格教育を建学の精神とする東北学院大学において、体育会活動は、もちろん各自、そのスポーツが好きで、好きでたまらないという学生が行う課外活動ではありますが、他方で、大学の人格教育の一環として、大学がそれなりに少ない予算から、環境を整え、その活動を掌握、奨励すべきものであるとの確信のもとに進めていく所存です。まずは、教員部長と監督には、学長から毎年委嘱状を（本学とスポーツでは関係の深い青山学院大学はスポーツOBOG連合会が法人格を取得して、大学とOBOG会の連名で）お渡しして、体育会の活動がキリスト教に基づく人格教育の一環であることの確認から進めていこうと思います。

就任後半年を経て、東北学院大学の事情にも通じてきました。今後ともよろしく願いいたします。



ご挨拶

会長 高橋富士男（柔道部OB）

本会報を隔年発行としましたが、このたび第9号を発行する運びとなりました。発行にあたっては企画広報委員会と事務局にいろいろのお手数をおかけしました。ありがとうございました。そして、紙ベースでの会報発行は今回が最終となり、来年からはWEB上での「躍動」誌となりますが、これは時代の流れであり大いに結構なことであると思っています。

さて、今年の総会での役員改選において私以下、三役が再任されましたが、今後も会の活性化に向けて新規事業も視野に入れ行動してまいりますのでどうか強力な後押しをお願いします。

これまでの事業として、勲功章の授与、会報の発行、ゴルフ大会、スポーツ講演会等を主な柱としてまいりましたが、今年は新たな事業として主に大学3年生を対象とした「就職セミナー」を開催しました。多くの体育会学生が集まってくれて、これからは大事な事業として定着してくれることに期待をしております。

新しいことを起こすにはそれなりの仕事量も増えますし、面倒な作業もあるので、できるだけ何もないほうが楽ではありますが、それではその組織は発展しません。これからも会員が目を向けてくれるような、体育会学生が参画してくれるようなTGスポレンでありたいと願っております。

先に私、副会長、理事長、事務局長でこの4月に学長に就任された大西晴樹先生を訪れご挨拶をさせていただきました。明治学院で院長、学長を務められた先生ですがスポーツにも理解があると感じさせられました。とりわけ、青山学院大学スポーツOB・OG連合会が今年に一般社団法人となったことを話題に挙げられて、TGスポーツOB連合会も是非、青学のように一般社団法人化して存在感を増してほしいとのことで、初めてお会いする学長からの発言に正直驚きました。その後に石垣学生部長とも一般社団法人化に向けての話し合いをしましたが、今後は常任理事会で十分に揉んで、理事会において意見を交換してまいりたいと考えております。事務局の所在や事務局スタッフの課題もあり簡単ではありませんが、法人格を持った団体、責任ある団体としての活動、将来に向けての存在に魅力を感じます。

来年はいよいよ東京オリンピックの開催年であります。かつては東北学院大学から水泳女子の松戸さん、男子ハンドボールの佐々木さんのお二方をオリンピックとして輩出しておりますが、その後は残念ながら出場していません。優秀な選手の確保、競技施設、指導陣の待遇など、強化に向けての問題山積ではありますが、ダムもアリの一穴から崩れる、と言います。しつこく頑張りたいものです。

TGスポーツOB連合会主催 第4回スポーツ講演会 佐藤あり紗氏「そして今がある。」開催

TGスポーツOB連合会主催による第4回スポーツ講演会が2018年10月11日（木）午後6時30分より土樋キャンパス8号館5階の押川記念ホールにおいて開催されました。

今回は2016年リオ・デ・ジャネイロオリンピックに日本代表として出場した佐藤あり紗氏を招き「そして今がある。」と題しての講演会となりました。

初めにTGスポーツOB連合会の高橋富士男会長による挨拶、石垣茂光学生部長からの祝辞に続いて、佐藤あり紗氏が登壇しました。仙台市出身で古川学園高等学校、東北福祉大学を卒業され、世界のオリンピックで活躍し、現在に至るまでの経歴とさまざまなエピソードがスライド上映を交えながら丁寧に語られました。

大学でスパイカーからリベロという守備専門のポジションに変更する決断をし、4年生の時には全日本バレーボール大学選抜男女東西対抗戦に出場しベストリベロ賞を受賞。その後、日立オートモティブシステムズに入社し、日立リヴァーレへ入団しました。

その翌年にはバレーボール全日本女子に初選出され、2016年リオ・デ・ジャネイロオリンピックのバレーボール全日本女子代表として出場し、第5位入賞を果たしました。世界の大舞台でもあがることはありませんでしたが、海外選手の高い身長とボールの威力で腕全体があざだらけになったということです。

膝を怪我したときには練習ができないため、ノートにこれまでお世話になった人の名前をすべて書き込んだといいます。先輩、コーチ、監督、サポーターなど、どれほど人に恵まれ、運に恵まれ、環境に恵まれていたことか。「自分の意志でここまで来たというよりも、導いていただいた」と語り、言葉の端々からその感謝の気持ちがあふれていました。

その後の質疑応答では、体育会所属の学生たちから質問が飛び交い、オリジナルTシャツ・プレゼントのジャンケン大会では大いに盛り上がりました。閉会の挨拶で大友富雄理事長が締めくくり、講演会後はサインをいただく長蛇の列ができて、その人気ぶりが窺われました。



TGスポーツOB連合会主催 第5回スポーツ講演会 新田佳浩氏「スポーツの可能性と今後」開催

2019年9月19日（木）、土樋キャンパス8号館の押川記念ホールにおいて、障害者ノルディックスキー選手であり、日立ソリューションズ「チームAURORA（アウローラ）」スキー部所属の新田佳浩氏を講師として、TGスポーツOB連合会の主催による第5回スポーツ講演会「スポーツの可能性と今後」が開催されました。

新田氏は、平昌パラリンピックやバンクーバーパラリンピックでの金メダル獲得のほか、様々な大会において優秀な戦績を納めているアスリートです。会場には金メダリストの講演を聴こうと、多くの体育会所属学生やOB、教職員が集いました。

講演の冒頭は、新田氏が障害者スポーツに打ち込むまでの経緯を紹介。パラリンピックの父とされるルートヴィヒ・グットマン博士の「失ったものを数えるな。残されたものを最大限に生かせ」という言葉は、スポーツの世界だけにとどまらず、人生の折々に支えとなる言葉であるといえます。

目標達成において大切にしている心の持ち方について、「やる気」には持続性の違いにより3段階に分かれ、より持続性のあるやる気を持つためには外部からの報酬のみならず、内部からの動機によるやる気が大切であるといえます。さらに、目標を達成する具体的な方法論を自身の経験と結び付けながら解説してくれました。

新田氏の講演後、学生から「大会本番で緊張しないために大事なことは何か」との質問に、練習と本番を切り分けて考えるのではなく、日々の練習の延長線上に本番があり、本番で結果を残さなければいけないというネガティブな思考ではなく、結果を出せばヒーローになれるというポジティブな思考になれているかということ念頭に置きながら練習することが大切だといえます。

障害とともに歩み、数々の壁を乗り越え結果を残してきた新田氏だからこそ、その言葉の一つ一つに重みがあり、会場の参加者は終始その話しに引き込まれ、最後に盛大な拍手をもってスポーツ講演会を終えました。



アメリカンフットボール部

『For the Flag』

今年ラグビーワールドカップが日本で開催されております。

日本代表チームの戦いに心の奥から強い感動を覚え、翌日からの大きな活力となっております。あらためてスポーツの力を感じさせられております。

日本代表のチームスローガンである「One Team」が全てのプレーに感じられます。

我KAYAKSも40年程前に部旗を作成した際、チームのFighting Flagとなり、その時のスローガンが『For the Flag』全く「One Team」と同義でこの精神で実践出来れば勝てるんだと教えられました。

この部旗に恥じぬよう、正々堂々と戦う為に充分準備をし、仲間を信じ、対戦相手を敬い、全てはこの旗の為、チームの為に何が出来るかを考え実行し、それがチーム勝利に繋がり結果が付いてくると先輩方教えられました。この精神は、残念ながら卒業してから気づかされることが多くありますが、地域、会社それぞれの家庭が掲げる旗の為に、尽くせる美德を教えて頂いた、東北学院大学体育会並びにTeam KAYAKSの先輩方に感謝しております。

そして今でも部旗を見ると高ぶる気持ちとその精神が蘇ります。

現役の皆様には伝えたいことは、胸に校章をつけ、ヘルメットにKAYAKS Flagをつけて戦える事の幸せと誇り感じて、その精神を後輩達に伝え続けてほしいと思います。

それがKAYAKS OB/OG全員の望みであり願いであります。

今もこうしてアメリカンフットボール協会、体育会スポーツOB連合会等に携わってられるのも全ては『For the Flag』の思いからと感じております。

最後になりますが、スポーツは「少年を大人にし、大人を少年にする」と言われております。

この事は正にラグビーのワールドカップを見て観客達が老若男女問わずに、あれ程純粋に感動でき応援できる事が証明しております。

自分ももう少し間、スポーツ小僧でいたいと思います。

アメリカンフットボール部OB/OG会
会長 高橋 公晴



一部昇格を決めた試合でも部旗を先頭に入場 2010年11月23日 於 宮城自転車競技場

今年3月に卒業したOG・OBの主な就職先

三菱ビルテクノサービス(株)、阿部勝自動車工業(株)
 (株)ネクスコ東日本エンジニアリング、鳥羽建設工業(株)
 夢みなみ農業協同組合、カメイ(株)、宮城県教職員
 三菱電機システムサービス(株)、(株)緑

OB会の近況など

東北学生アメリカンフットボールリーグ2018年優秀選手

オール東北選出

最優秀DL (ディフェンスライン) #79佐々木風雅

敢闘賞QB (クォータバック) #石井京介

以下オール東北

G (ガード) #98赤間栄作

WR (ワイドレシーバー) #83高橋駿

DL (ディフェンスライン) #79佐々木風雅

CB (コーナーバック) #28目黒創太

SF (セーフティー) #6杉山篤志

K (キッカー) #2大内啓介

R (リターナー) #21佐藤隆太

現役部員について

今年度の目標

東北リーグ制覇

新入部員の紹介

荒川雄大 (ソフトテニス) #79、OL 宮城県宮城広瀬高校

伊藤紫苑 (簿記研究) #69、OL 仙台市立仙台商業高校

蝦名峰明 (ラグビー) #2、DB・QB 青森県立青森工業高校

後藤空牙 (ラグビー) #6、RB・LB 岩手県立黒沢尻工業高校



斎藤蓮 (ラグビー) #21、RB・DL 仙台市立仙台工業高校

白木颯 (サッカー) #19、K・RB・DB 秋田県立本荘高校

鈴木大雅 (ラグビー) #78、OL・LB 宮城県利府高校

阿部真己 (空手) #54、DL 秋田県立秋田北高校

清野光希 (サッカー) #87、K・P・DB 宮城県富谷高校

高橋裕也 (バスケット) #80、WR 福島成蹊高校

天野利玖 (無所属) #12、WR 秋田県明桜高等学校

※ () 内は高校時の所属競技・活動団体

今年期待の選手

#9、QB、4年、石井京介 昨年からの正QBで、今シーズンは主将でもあり、チームの精神的支柱。

#55、OL・DL、3年、平塚達也 上級生になり、自覚と自信を持ち強さが増した。

その他、会報に掲載して欲しい事項

我々アメリカンフットボール部は創部40年を超え、輩出したOB・OG(選手サポート業務)は400名に迫る伝統ある団体であり、1980~90年代にかけては東北リーグ制覇を含めて、毎年優勝争いを続けてまいりました。近年は部員不足に悩まされて続けながらも、昨シーズンは東北リーグ2位まで登りつめる事が出来ました。しかし昨シーズン主力だった4年生が大量に卒業し、今年のリグ戦参加が危ぶまれる状態でした。

このため、OB・OGが奮起し例年以上にOB・OG会費を集め、新入部員を多く獲得することが出来ました。

上宜しくお願い致します。



空 手道部

TGスポーツ連合会 会報「躍動」第9号の発行おめでとうございます。

また日頃は空手道部OBOG会の活動に多大なるご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

私たち空手道部OBOG会は、平成27年8月開催通常総会において会長を始めとするすべての役員を改選する大きな変革行いました。

以来4年間二つの大きな問題の解決にチャレンジして参りました。

『二つの大きな問題』を簡単に表現しますと、第一に「会員交流がない」ということ、第二に「OBOG会と学生のコミュニケーション不足」という2点です。

第二の「OBOG会と学生のコミュニケーション不足」は、事務局の中で『研究委員会』を設立し、現役学生が試合や稽古中に事故怪我が発生した際の対応マニュアルを作成し、OBOG会活動への現役学生の参加（通常総会への参加等）、またOBOG会より学生に連絡を定期的に行うなどの対策によりほぼ問題解決に至っております。

卒業生も現役時代よりコミュニケーションをとっていた成果も徐々に効果をあげており、卒業後のOBOG会への参加意識も向上してきており、しばらくは地道な啓蒙活動をしていく必要がありそうです。

現在は『研究委員会』を閉鎖し、『総務委員会』を新たに設立し現役学生とのコミュニケーションを継続するとともに今後のOBOG会の継続に向けた問題に取り組んでおります。

第二の問題より、第一の「会員交流がない」という問題が現在も継続して取り組んでいる解決の困難な問題となっております

一言でいえば「活動への関心がなくなった」という事ですが、何故なくなったのかを事務局内で議論して参りました。

原因の一つとして、先輩後輩の関係が今までの関係ではないという事になります。世代間の繋がりが希薄となったとよく言われますが、上下関係で繋

がっていた世代ではないという事です。

つまり「卒業したら次は当然OBOG会で先輩後輩の中で活動していく」という事ではなく、卒業し社会人として生活していく中でOBOG会活動に参加する判断は自分で決めていくという事になり（OBOG会規則では卒業後は自動的にOBOG会入会となります。）、現在のOBOG会も、丁度社会情勢を反映して30代から40代の参加が著しく少なく、如いては会費納入不足に陥っている状況です。

事務局としては、現在の社会状況もしっかり理解し、ただ活動参加を促すだけではなく、OBOG会活動の考え方、目的、活動内容、そして『見える化』を行い会の価値を伝えていくような、これも地道な活動を継続しております。

今後とも空手道部OBOG会を宜しく願い申し上げます。

東北学院大学空手道部OBOG会



青山学院定期戦懇親会



空手道部追い出しコンパ

剣道部

東北学院大学体育会剣道部

2020年・創部100周年記念事業

TGスポーツ連合会に於かれましては、日頃より東北学院大学体育会剣道部後援会に多大なるご支援を賜り厚く御礼を申し上げます。

私、平成29年度より剣道部後援会会長に就任いたしました、昭和58年度卒業の酒井俊治と申します。

我が剣道部は大正9年（1920年）の創部であり、2020年には創部100周年を迎えることとなります。それに向けて3年前から「創部100周年記念事業実行委員会」を立ち上げ、記念式典の準備、記念誌の制作、記念品の準備、記念大会の開催準備（全日本基督教関係大学剣道大会）等々、記念事業の打合せを重ねてまいりました。

この場をお借りいたしまして、これまで長い歴史を築きあげて頂いた諸先輩、そしてご指導を頂いた諸先生に深く感謝申し上げます。

改めまして2020年は、未来に向けて大きく飛躍する年にすべく、体育会剣道部後援会一丸となり一層の努力、精進をする所存でございます。

今後とも、皆様のご指導ご鞭撻よろしくお願い申し上げます。

2019年の主な活動

後援会の活動としてOB・OGの稽古会を実施

8月10日に曾根孝悦師範のお誘いで国際社会人剣道交流の一環で韓国からお客様を迎え合同稽古会を行いました。

また、9月22日に東北学友会剣道大会が東北学院大学工学部多賀城キャンパスで行われ50歳以上の部に3チームが参加して熱戦を繰り広げました。

学生の部活動では4月より澤田裕和新監督、黒澤祐輔新助監督（兼女子部監督）を迎え、二名体制で学生の指導に当たっております。

9月23日に行われました「第67回東北学生剣道優勝大会」「第45回東北女子学生剣道優勝大会」におきましては、男子は優勝・女子は接戦の末準優勝を飾ることができました。それぞれの全国大会での活

躍を期待しております。

後援会として今後も惜しめない応援、助力をしていきたいと思っております。

最後に、来年の創部100周年記念事業は保護者の皆様のご理解、ご協力、そして東北学院大学体育会剣道部OB・OGの皆様方の応援が必要不可欠かと思っておりますので、今後とも今までと変わらない応援・ご協力の程、よろしくお願い致します。

会長 酒井 俊治



国際社会人交流稽古会（韓国剣道の皆様とOB・OG合同稽古会）



東北学友会剣道大会50歳以上出場者



東北学生剣道優勝大会男子優勝 東北女子学生剣道優勝大会準優勝

今春3月に卒業したOB・OGの主な就職先

- ・宮城県警察
- ・青森県警察
- ・宮城刑務所

OB会の近況など

(1) 各事業

- ・2018年度東北学院大学剣道部後援会総会
(2018年6月30日一軒居酒屋大町へそのを)
- ・幹事打合せおよび創立100周年事業打合せ
(2018年6月21日、11月30日、12月18日、
2019年1月29日
東北学院大学土樋キャンパス90周年記念
館第5会議室)
- ・OBOG稽古会
(2018年7月14日 東北学院大学土樋キャンパス 錬心館)
- ・2019年度東北学院大学剣道部後援会総会
(2019年6月22日 ハーネル仙台)

(2) 活躍のOB

- 第66回全日本都道府県対抗剣道優勝大会出場
宮城県：黒木翔平先輩(五将)、新村浩志監督(監督)
- 第64回全日本東西対抗剣道大会出場
澤田裕和先輩
- 第60回東北・北海道対抗剣道大会出場
川木一也先輩、遠藤稔正先輩、遠藤卓也先輩、
白鳥卓也先輩
- ねんりんピック富山2018剣道交流大会出場
盛島明彦先輩
- ・黒木 翔平先輩(宮城県)
- ・櫻井 勇輝先輩(岩手県)
- ・渡部 玲先輩(山形県)
- ポーランド剣道講習
・曾根 孝悦先輩

(3) 表彰関係

- 七段昇段
- ・菊田迅人先輩
- ・鈴木次彦先輩

(4) 慶弔関係

- ・白幡 喜久夫先輩(1969年度卒 2018年6月逝去)
- ・眞山 和弘先輩(1988年度卒 2019年5月逝去)

現役部員について

(1) 今年度の目標

昨年は、東北での個人戦にて9名の全国出場者を出し、団体戦では男子が3連覇を果たした。また、全日本学生剣道オープン大会において日本一となり着実に地力をつけてきている。師範・監督・コーチ陣と充実した指導者を得ると共に、選手勧誘による実力ある選手の獲得だけでなく、一般からの入部者の才能を引き出し、遠征等の強化を怠らず、長年の夢である全国選手権・優勝大会上位入賞を目指す。

(2) 新入部員の紹介

- 佐々木聡希(利府高等学校)
- 相澤東輝
- 千田龍汰(仙台育英学園高等学校)
- 佐藤裕介(学法福島高等学校)
- 河野健(花巻北高等学校)
- 佐藤優空(岩手高等学校)
- 渡辺快斗(小牛田農林高等学校)
- 木村嶺児(学法福島高等学校)
- 佐藤直哉(平工業高等学校)
- 石山裕大(小牛田農林高等学校)
- 尾野菜奈加(札幌日大高等学校)
- 三浦日奈乃(小牛田農林高等学校)
- 小原梨央奈(山形商業高等学校)
- 白崎桃汰(酒田光陵高等学校)

(3) 今年期待の選手

千田龍汰(1年)

高校時代は、県内の団体戦で優勝をはじめ、東北選抜でも団体優勝し、県の個人戦でも準優勝の成績を残している。東北総体の団体戦は惜しくも3位の成績であったが、本人は全勝している。

小原梨央奈(1年)

高校時代は、山形県内の大会で2位、3位が続き東北大会までであったが、国体の東北ブロック大会で優勝している。

その他、会報に掲載して欲しい事項

2020年度に創部100周年を迎え、記念式典および大会の開催を企画していること。

記 載 者 熊 谷 求 己

サッカー部

皆さまには、お元気でご活躍のことと存じます。

2020年のオリンピック開催に向け、今年は様々な競技が開催されており、日本選手団の活躍は目を見張るものがあります。我がサッカー部OB会の主な活動に青山学院との交流定期戦があります。本年は仙台での開催で第49回目を数えました。

懇親会（前夜祭）・ゴルフコンペ・サッカーの交流が、多くのOBの参加をいただき行われました。8月3日（金）には、大学サッカー部OB会後援会長の峯岸良造ナイトが国分町「本家やま孝」寿司店において和やかに開催され、結びに副会長の菅原裕典様より歓迎

の挨拶をいただき散会となりました。

翌日は表蔵王国際ゴルフクラブでの交流が沢山のOBの参加のもと行われ、本学OBの桃野君が初優勝をかざりました。

翌5日（日）はサッカー日好に恵まれ泉サッカー場に於いて、両校往年のプレーを繰り広げ、愉快的3日間に亘る交流が無事終ることができました。

次年度は記念の50回目の交流で再会を約束し、タイムアップのホイッスルが吹かれました。

大会開催にあたり、沢山の支援をいただいたOB・後援会の皆様に心からの感謝を申し上げます。

**“For the Unchanged Friendship and
Spirits of Football Forever...”**





岳部

今月3月に卒業したOG・OBの主な就職先

- ・ 仙台商工会議所
- ・ 全国共済農業協同組合連合会宮城県本部
- ・ 杜の都信用金庫

OB会の近況など

各事業

- ・ 第62回TGヒュッテ「栄光」祭
(2018年10月7日 場所：蔵王)
- ・ 平成30年第1回例会登山・現役春山合宿
(2019年4月27～5月6日 場所：TGヒュッテ)
- ・ 第5回海外登山研修会「ヒマラヤ講座」
(2019年2月24日 場所：TGサテライト)
- ・ 平成30年度定期総会
(2019年5月11日 場所：TGサテライト)
- ・ TGヒュッテ補修建築工事・完成
(2019年6月17日～7月11日 場所：TGヒュッテ)

活躍のOB

東北学院大学・体育山岳部コーチ・山岳会海外登山研究委員長 志子日美弘(60歳・昭和56年卒)は、平成31年4月28日(日)午前7時15分、ヒマラヤ山系(ネパール)ロブチェ・イースト峰(6,119m)の登頂に成功した。中高年登山にとって最大の課題は休暇の取得と云う制約である。60歳退職と云う機会を活かし、隊員2名で編成され4月16日に日本を出発した。最小限度の装備と現地ではシエルパ2名とポーター3名と云う経費を抑えた。胃痛に悩ませられる中、高度順応行動を取りつつ、アタックは本人1人とシエルパ2名で実行され見事登頂を果たした。

表彰関係

令和元年5月28日春の叙勲「旭日単光章」相沢岩男 昭和39年卒

山岳救助30年活動・宮城県山岳連盟会長4年務める

東北学院山岳会の会員として初の受賞

慶弔関係

平成30年6月29日 永眠 遠藤素男 昭和29年卒

平成30年8月13日 永眠 西間木正夫 昭和29年卒 現役部員について

今年度の目標

現在の山岳部の現役部員は9名、登山班6名(男子3名・女子3名)、スポーツライミング男子3名で構成されており、スポーツライミングのメンバーはスポーツ推薦で入部し、高校時代からの実績もあり各大会での上位入賞が期待できる。登山班は2名の男子が経験を積んでいるがその他の部員は登山未経験者である。部員間の実力のギャップがある。登山計画にもそうした理由から制約が加わる。今年一年間は全体レベルアップに努め、来年度以降レベルの向上アップで山行計画を練って欲しいと考えている。

新入部員の紹介

上平裕也(歴史) 八戸工業大学第一高校

小出瑠奈(歴史) 古川高校(山岳部)

村上加奈(歴史) 名取北高校

庄司魁星(情報科学) 東北学院榴ヶ岡高校

東北学院大学体育会 山岳部監督 渡辺 道夫



シエルパ2名と志小田隊員の登頂写真



ロブチェ・イースト峰(6,119m)

少林寺拳法部

卒業生の主な就職先（2017年～2019年）

大東銀行・東北学院大学・福島県警察・宮城県警察（職員）・青葉化成（株）・NTT東日本（株）・白石市役所・千葉県警察・陸上自衛隊・青森県警察（職員）・（株）バンダイナムコ

OB会近況

各事業

2017年8月14日 創部50周年記念祝賀会
（メトロポリタン仙台）

2017年10月21日 OB総会（ホテル白萩）

2017年10月21日 成田祐佳さん世界大会inUSA
段外単独演武の部最優秀賞受賞祝賀会

2018年7月21日 OB総会（青葉の蔵）

2019年8月24日 OB総会（東北三味 みちのく邸）

監督の交代

2018年度OB会総会において、監督の交代があった。高橋秀幸氏（2006年卒）に代わり、千葉周平氏（2016年卒）が新監督に就任した。

OB会長の交代

2019年度OB会総会において、会長の交代があった。阿部二三男氏（1974年卒）に代わり、佐々木文彦氏（1969年卒）が新会長に就任した。

現役部員について

部員数

現在、4年生5名、3年生2名、2年生4名、1年生3名の計14名で活動しております。

年間活動予定

4月 新歓活動

5月 新入生歓迎会、東北学生大会、仙台市大会

6月 幹部交代式、対北海学園大学総合定期戦

8月 東北学院大学夏季合宿、東北学生連盟夏季合宿

9月 宮城県大会、地域指導者研修会

10月 仙台市武道まつり

11月 全国大会、全日本学生大会

12月 納会

2月 本部合宿、卒業生を送る会・OB会入会式

目標

2017年の全日本学生大会より導入された大学ごとの入賞者数で競う「総合優勝」の達成を目指します。

主な戦績（2017年～2018年/全国大会3位以上）

【現役生】

2017年：世界大会inUSA 段外単独演武の部（最優秀・第1位）

2017年：第51回全日本学生大会 段外単独演武の部（最優秀・第1位）

2017年：第51回全日本学生大会 男子初段の部（優良・第3位）

【OBOG】

2018年：全国大会in群馬 一般男子初・二段の部（最優秀・第1位）

2018年：全国大会in群馬 女子護身技法の部（優秀・第2位）

慶弔関係

2018年2月19日逝去 郷内 俊明殿（1975年卒）

記載者 川崎 綾香





OBの主な就職先

平成30年3月卒業

北海道警、警視庁、宮城県警、仙建工業(株)、(株)ニトリホールディングス、(株)建設新聞、(株)仙台銘板、総合警備保障(株)、釜石瓦斯(株)、J A山形おきたま、東建コーポレーション(株)

平成31年3月卒業

仙台市役所、石巻市役所、宮城県警、陸上自衛隊幹部候補生学校、(株)銭高組、三好建設(株)、(株)銀座山形屋

OB会の近況など

(1) 各事業等

南六会報第38号発行 (2017年11月1日)

平成30年度南六会総会 (2018年6月9日 場所 ホテル白萩)

平成30年度オールTG柔道総会 (OB、後援会、部員合同) (2018年6月9日)

南六会報第39号発行 (2018年11月1日)

令和元年度南六会総会 (2019年6月8日 場所 ホテル白萩)

令和元年度オールTG柔道総会 (OB、後援会、部員合同) (2019年6月8日)

創部100周年記念式典&祝賀会 (2019年10月5日 場所 仙台サンプラザ)

創部100周年記念・南六会40号発行 (2019年11月1日)

(2) 物故者

佐藤 智 殿 (昭和51年卒) 平成30年1月31日

笹原 裕司 殿 (平成2年卒) 平成30年2月12日

太田 信一 殿 (昭和32年卒) 平成30年2月28日

佐々木 彰 殿 (昭和52年卒) 平成30年4月17日

佐藤 征夫 殿 (昭和42年卒) 平成30年6月2日

関 登 殿 (昭和30年卒) 平成30年7月4日

現役部員について

(1) 新入部員の紹介 (氏名・出身校・ポジション等)

平成30年入学

奥田駿人 (東北)、黒田泰生 (東海山形)、渋川勇

人 (青森北)、高橋秀希 (光南)、千葉康太 (仙台育英)、日野智瑛 (東北)、村上友亮 (東北学院) 以上7名。

平成31年入学

今野剛龍 (東北)、田原瑞起 (日大山形)、佐藤友飛 (柴田)、李一世 (聖和学園)、女鹿和希 (東北学院)、岡堀朱樹 (盛岡南)、日野蓮 (東北)、小野誉幸 (盛岡南)、大槻泰生 (東北学院) 以上9名。

(2) 全日本学生柔道体重別大会出場者

(2019年9月28・29日)

73kg 佐藤 友飛 (1年・柴田高)

73kg 渋川 勇人 (2年・青森北高)

81kg 今野晃太郎 (3年・東北高)

90kg 奥田 駿斗 (2年・東北高)

90kg 高橋 佑季 (3年・光南高)

90kg 門脇 宗宜 (4年・鶴岡工業高)

100kg 田原 俊希 (3年・日大山形高)

100kg超 鈴木 純輝 (3年・柴田高)

(※東北学連代表枠30名の中で本学から8名が出場した)

南六会 (柔道部OB会) 記載者 (高橋富士男)

準 硬式野球部

今年3月に卒業したOB・OGの主な就職先

- ・秋田市役所
- ・仙台銀行株式会社
- ・仙南信用金庫
- ・北日本銀行
- ・日本郵政株式会社
- ・JFE品川ファーマス株式会社

OB会の近況など

各事業

- ・OB総会 (2018年11月26日 場所：パレス平安)
- ・親睦ゴルフコンペ (2019年8月4日)
- ・少年野球教室、野球部共催 (2019年10月26日 場所：笠神球場)

活躍のOB

- ・杜の都信用金庫 高谷弘樹
河北新報杯 優勝 (全国軟式野球大会出場)
- ・宮城第一信用金庫 高橋拳嗣
河北新報杯 準優勝 (東北地区軟式野球大会出場)
- ・仙台銀行株式会社 工藤義弘
軟式野球部 監督就任
- ・静岡県浜松信用金庫 永田明仁
軟式野球部 監督就任

表彰関係

宮城県野球団体協議会 年間 優秀選手
2018年度 3年 加藤和樹 (仙台商業高校)

現役部員について

今年度の目標

現在部員42名、最近部員数が増えており、レギュラー争いが熾烈です。

2019年4月からの東北地区準硬式野球連盟主催の春季リーグ戦に於いて、13勝1敗で57度目の連続優勝。

優勝によって8月20日から名古屋市で開催の文部科学大臣杯第71回全日本大学準硬式野球選手権大会に58回目の出場をしました。全国優勝を目指して日々活動しています。

新入部員の紹介

- 阿部宙大 東北高校 投手
- 荒井要人 仙台城南高校 投手
- 佐竹光人 泉松陵高校 投手
- 佐島隼人 東北学院高校 外野手
- 及川佑瞳 花巻東高校 内野手
- 邊見和真 利府高校 内野手
- 三浦佑貴 柴田高校 捕手

今年期待の選手

- 1年 佐竹光人 投手 サイドスローからのシンカー、スライダーが武器
- 2年 加藤篤紀 投手 威力ある直球、スライダー、フォークが武器
- 3年 菊地達朗 主将 外野手 長打力が持ち味
- 3年 吉野精隼 外野手 攻打、長打力、俊足
- 3年 阿部 匠 内野手 広角打法でアベレージ打者
- 3年 八鍬晃貴 投手 コントロール抜群で打たせてアウト取る

スキー部

今年3月に卒業したOB・OGの主な就職先

株式会社横井製作所 (ACTヨコイ株式会社)

現役部員について

今年度の目標

昨年度、全日本学生スキー選手権大会に於いて、出場全種目得点と総合10位という成績を残し、今年度は昨年度の得点を上回り、上位進出を目指して行きたい。

新入部員の紹介

今年は残念ながら、新入生の補強はゼロでしたが、昨年の得点者が全員残りました。

今年期待の選手

高橋 雅人 (4年)、門馬 沙貴 (4年)
二戸 藍 (2年)、小座門 匠斗 (2年)
(前年度得点者) 上位入賞可能な選手

スキューバダイビング部

創部40周年を祝して

スキューバダイビング部は、1979年に体育会に加入し昨年創部40周年を迎えることができました。これもひとえに故柴田誠部長、黒須憲部長、徳増良平顧問、畠山敏顧問他多くのOB、OGの皆様のご支援によるものであり心より感謝申し上げます。

3月に5名の卒業生を送り出し、OB数が305名となりました。しかしながら、まだまだOB会活動は課題も多く艱難辛苦の状況です。今後OB会としては、現役学生を支援できる体制を構築する事、及びOB会会員の交流促進が求められております。

40周年を迎えたこの機会に、今年4月に長年監督を務められた畠山敏監督が退任し顧問となり、新たに涌澤和也監督 (H21卒) が就任しました。これを機に更にスキューバダイビング部が発展する事を祈念しております。

OB会 会長 菊地常義

涌澤和也 新監督より

当部の活動方針は、年間の活動全てを部員である学生が決定し、計画運営をすることです。

限りのある学生生活を有意義なものにするために、主体性を持った人間になってもらいたいと、考えているためです。

その為には経験と知識は不可欠です、新入部員のライセンス講習やダイビング合宿などの活動計画、準備・運営を経験することによってどの様にすれば良いかを考え、ライセンスのランクアップをすることで、安全なダイビングへの知識習得を図っております。

私達が相手にするのは「海」です、3.11以降私達と海との距離感は非常に遠くなってしまったような気がしますが、勿論決して手加減してくれる事はありません。反面、海は私達に沢山のものを与えてくれます、共に過ごす仲間とダイビングを通して「経験の共有」をすることによって海を身近なものに感じてほしいです。

私自身もまだまだ若輩者ですが、学生と共に成長しより良いクラブにしていきたいと思います、これからも当部を宜しくお願いします。

新体制について

指導教員（部長）：黒須 憲

監督：涌澤 和也

顧問：徳増 良平 佐藤 順

畠山 敏

コーチ：阿部 勉 菅原 未起子

星 直樹 松浦 一貴

鈴木 諒 阿久津 実希

畑野 友花 渡邊 和寿

豊岡 棟雄

今年3月に卒業したOB・OGの主な就職先

- ・クラレプラスチック株式会社
- ・JR東日本総合サービスセンター

OB会の近況など

(1) 創部40周年祝賀会

2018年11月24日ホテル白萩に於いて、総勢70名の参加で行いました

現役部員について

(1) 今年度の目標（競技成績や部全体の目標）

関東学生潜水連盟フリッパー競技大会で総合優勝する事と、全国スポーツダイビング室内選

手権大会で個人成績で入賞することです。

(2) 新入部員の紹介（氏名・出身校等）15名

東北学院高等学校（佐藤奨真、峰岸龍太郎）

東北学院榴ヶ岡高等学校（安藤謙伸、大友佳祐、櫻庭稜大、酢谷俊）

東北高等学校（伊藤裕衣香、遠藤沙里） 仙台

第一高等学校（東美滯） 仙台高等学校（佐藤

朝凪） 仙台向山高等学校（笠井美里） 名取

北高等学校（川下輝晶） 黒川高等学校（新田

一貴） 小牛田農林高等学校（佐藤海斗） 福島

南高等学校（橘優我）

(3) 今年期待の選手（学年・氏名・期待の理由等）

2年生の田中高生、今年当部で行ったフリッパー大会で2年生ながらに、全国で期待できる結果を残した。

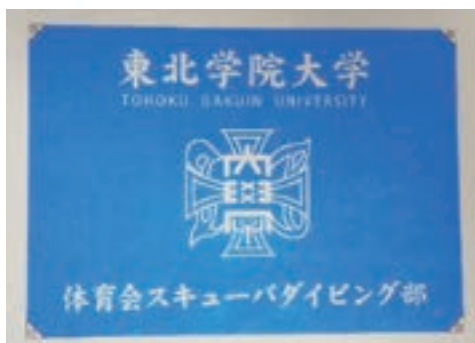
これからの練習や大会での経験を積み、今年だけでなく来年以降も良い結果を残して欲しい。

その他、会報に掲載して欲しい事項

OB会より新しい部旗を寄贈して頂きました、この場を借りて御礼申し上げます（主将 鈴木郁也）

スキューバダイビング部 OB会

記者 下山 正人



スケート部

設立当時を振り返って

スケート部設立動機は、当時本学には殆どのスポーツ部があったが冬のスポーツ部門ではスキー同好会しかなく、東北地区でもアイスホッケー部を持っている大学が少ないことに着目して始まった。設立当時の名称はアイスホッケー同好会とも思ったが、スケートには他にスピードスケート、フィギュアがあり、特にフィギュア部門は仙台がフィギュアスケート発祥の地であるため、いずれ必要になるだろうと後輩のことを思い三部門の総称として「アイススケート同好会」の名称で昭和38年11月18日に発足したものである。

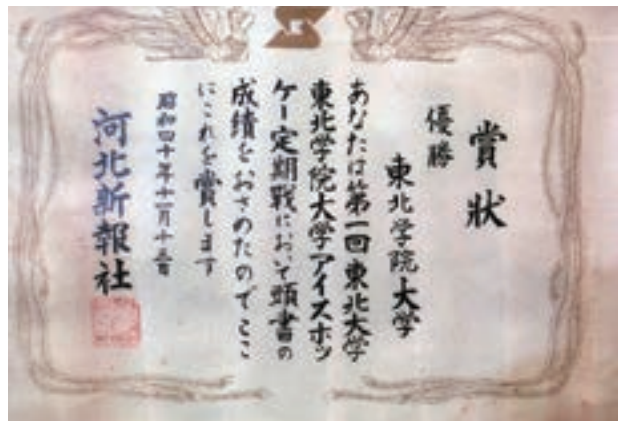
設立当時の会員は実質10名程度で殆どが学生寮にいたメンバーであり、スケートを履いた事もない人間が多かった。翌年の昭和39年からは新入会員も増えて格好がついてきたものである。室内リンクは当時、名取と新設された仙台的二つだけで、仙台の八幡町スケートセンターをホームリンクとしたが、同好会の為体育会からもらう予算は雀の涙しかなく防具を買う金もない。通常は八幡町のスケートセンター、夏や冬の休みには会員各自でアルバイトをして得た代金を防具代にまわすという涙ぐましい努力をしたものだった。

設立から一年後の昭和40年3月に東北大学と交流試合を八幡町スケートセンターで行い「1-7」のスコアで負けたが、伝統ある東北大学も本学の思わぬ善戦に当時の東北大学の金子監督から「スケートを始めたばかりの選手が多いのに短時間でこれだけ出来るようになるとは・・・」と驚かれ褒められたものであった。この試合については、河北新報にも宮城県で初めての試合として記事に載ったものである。

昭和40年11月には東北大学と河北新報杯第一回定期戦が行われ、創部二年目で本学スケート部が「5-3」のスコアで公式戦初勝利を飾った。その後、青山学院大学、北海学園大学との定期戦も生まれていくのである。そしてクラブの名称も「アイスホッケー部」再び「スケート部」と変わり種々の大会、

各校との定期戦、インカレ等、また選手個人でも国体に出場する等アイスホッケー、フィギュアの各部門共にOB・OG諸氏の活躍は喜ばしい限りである。

スケート部 名誉会長 山内 浩
(昭和40年卒 初代主将)



スケート部 創部55周年 OB・OG会 総会

平成30(2018)年10月13日(土)16時
こりょう
長陵会館

黒須 憲 教授を来賓にお迎えしOB・OG28名、現役学生17名が参加

山内 浩 会長が勇退し名誉会長に、新会長に常松正敏氏が選任された。



スケート部 創部56周年 OB・OG会 総会

令和元（2019）年5月12日（日）17時

TKPガーデンシティ

黒須 憲 教授、応援団、チアリーダーを来賓
にお迎えしOB・OG13名、現役学
生24名が参加
青山学院との定期戦の翌日に新入生
歓迎会と同時開催

**今年度の目標**

アイスホッケー部門

- ・青山学院定期戦 勝利
- ・サマー大会 優勝 最低ラインベスト4
- ・インカレ本戦 ベスト8

フィギュア部門

- ・インカレ出場

新入部員の紹介

アイスホッケー部門

- ・浅野 颯司 東北高校 FW
- ・風間 浩輔 高崎工業高校 DF
- ・菅原 虎太郎 盛岡中央高校 FW

フィギュア部門

- ・鎌田 侑希 泉高校
- ・加藤 叶佳 東北高校

体育会スケート（アイスホッケー）部は、2018年に創部55周年を迎えました。

「LIFE LIGHT LOVE」本学の3L精神をモットーに日々精神と技術の鍛錬に励んでいます。既に東北エリアでは上位をキープする実力を身につけており強化指定チームに認定された今年（2019年）は更に全国で本学の名声を轟かせるべく部員一人一人が切磋琢磨してまいります。体育会スケート（アイスホッケー）部は「勝利に貪欲であれ」常に「挑戦」を意識し新たなステージで戦い抜きます。

【監督 遠藤 伸也】

**今年3月に卒業したOB・OGの主な就職先**

- ・宮城県警
- ・トヨタカローラ岩手 など

OB会の近況など

各事業

- ・第56回菊田杯卓球大会（2018年10月20、21日 場所：泉キャンパス）
- ・令和元年度OB会総会（2019年7月6日 場所：法華クラブ仙台）

現役部員について

今年度の目標

男女インカレ出場達成

東北学生選手権大会 男子シングルス ベスト4

川合優大

女子シングルス ベスト4 中井清か

新入部員の紹介

男子 新井京介（秋田商業）

女子 滝口 星（山形城北）

熊谷凌我（専修大学北上）

中井清か（弘前実業）

谷川竜介（東奥学園）

結城慧太（古川学園）

今年期待の選手

3年 川合優大 東北学生シングルス ベスト4

来年度は優勝を目標

1年 中井清か 東北学生シングルス ベスト4

来年度は優勝を目標

ハンドボール部

今年3月に卒業したOB・OGの主な就職先

- ・(株)北日本銀行
- ・(株)ジェイ・エス・エス
- ・(株)そら
- ・月電ソフトウェア(株)

OB会の近況など

各事業

- ・OB会報「錬磨」第23号発行(29年10月)
- ・第15回TGジュニアカップ(30年2月3日・4日 泉キャンパス体育館)
優勝 田尻中学校 準優勝 成田中学校 第3位 高砂中学校
- ・現役支援として試合球6個を寄贈(30年2月3日)
- ・第13回宮城県ハンドボールマスターズ選手権(30年6月 塩釜ガス体育館)
- ・OB会報「錬磨」第24号発行(30年8月)
- ・第16回TGジュニアカップ(31年2月2日・3日 泉キャンパス体育館)
優勝 五橋中学校 準優勝 成田中学校 第3位 中田中学校
- ・現役支援としてゴールポスト搬送用台車2台を寄贈(31年2月2日)
- ・第14回宮城県ハンドボールマスターズ選手権(31年2月 大崎市田尻体育館)
- ・第15回宮城県ハンドボールマスターズ選手権(元年6月 仙台市体育館)
- ・OB会報「錬磨」第25号発行(元年9月)
- ・現役支援として試合球6個およびキャリアケースを寄贈(元年9月19日)

現役部員について

今年度の目標

東北学生ハンドボールリーグ1部昇格

新入部員の紹介

- 首藤大地(利府:センター)
- 安部倅生(利府:サイド)
- 太田尚貴(盛岡中央:フローター)
- 神田天宗(盛岡中央:センター)

- 高橋拓磨(盛岡中央:サイド)
- 小野恭輔(富谷:ポスト)
- 石沢飛翔(山本学園:サイド)
- 菅野秀明(福島東:サイド)
- 南口雄哉(仙台西:サイド)
- 阿部竜征(仙台育英:フローター)
- 佐藤 凌(仙台南:キーパー)
- 戸澤理帆(福島東:マネージャー)

事務局 阿部 修



スケートボール部

今年3月に卒業したOB・OGの主な就職先

- 【OB】(株) 渡辺パイプ、中道リース(株)、文化シャッター(株)、(株) おのや、JR東日本秋田支社
 【OG】多賀城市役所、(株) 藤崎、(株) F・D・C FRIENDS

OB会の近況など

各事業

- ・桂二先生の退職を祝う会(2018年3月23日 場所: 仙台ガーデンパレス)
- ・平成30年度総会(2018年6月9日 場所: 東北学院サテライトステーション)
- ・創部男子70周年女子50周年記念祝賀会(2018年11月10日 場所: 仙台ガーデンパレス)
- ・平成30年度納会(2019年1月19日 場所: TPKガーデンシティ)
- ・令和元年度総会(2019年6月22日 場所: 東北学院サテライトステーション)

現役部員について

今年度の目標

男女共 全日本大学選手権大会1回戦突破、上位進出

新入部員の紹介

【男子】

高橋日向・能代工業高校・ガード
 池田孝大・秋田西高校・フォワード

【女子】

赤井光・明成高校・フォワード
 野内里彩・郡山高校・センター
 今年期待の選手

【男子】

3年・坂本佳太: ガードとしてチームを引っ張り、スピードと得点能力が高い
 3年・宮野 良: ポイントゲッターとして、チームの柱として活躍

【女子】

4年・菅野志帆: ガードとしてチームをまとめ、スピードと得点能力が高い

記載者 石山 武



フェンシング部

練習風景



新入生 紹介



安 優人
 文学部 英文学科
 水戸葵陵高卒
 種目: フルーレ・サーブル



川崎 陸
 法学部 法律学科
 尚絅学院高卒
 種目: フルーレ



八巻 史緒里
 教養学部 地域構想学科
 米沢興譲館高卒
 種目: フルーレ・エペ

ボート部

温故知新

温暖化の影響でしょうか、各地で甚大な被害が出ておりますことに心よりお悔やみ申しあげます。

さて、わがボート部は1964年東京オリンピック開催年度に創設されました。創部当時は諸先輩方の苦勞は並大抵ではなかったものと伺っておりました。

部員確保も学生部員が有望な高校生に対し直接交渉をし、徐々に基盤が整い始めたということでした。

当時は石巻北上川河口付近から天王橋に向けてロー&ROW。いくら日の長い季節とはいえ納艇時には辺りは暗闇に包まれ、舟を片付けた後にはスクワットとジャンプ毎日毎日。春と夏の合宿生活では自炊をしながら家族のように？憎しみ合い？しつとも午後の練習が終わると体がグダグダ！明日は動けない。お日様が水平線を赤く染め始める前には「起床！」の声。

当時のメンバーが集まると「よくやってたよな〜」「だって、当たり前だったよな」強い身体と強い精神？当り前のことを深く考えずにやっていただけ。今思えば、それが結果に繋がっているのだと今の現役諸君に感じてもらいたいと強く感じる年代になったのです。

昭和53年、私が2年生の時でした。突然4年生のトップ選手が家庭の都合で現役を引退せざるを得ない状況になりその代役に私が指名されました。当時のプレッシャーと過酷な練習は、ここでは表す事のできないほど大きなものでした。その結果COX古川S米（故人）3佐々木 2私 B海上（故人）の（軽量級）舵手付きフォアにて全日本大学選手権大会に臨み念願の優勝を掴み取りました。あの感動は今でも忘れられません。

その後は、2001宮城国体少年クォドルプル優勝メンバーのS会田、B那須川のダブルスカルで2005年準優勝を果たしております。

近年の現役諸君の活躍を心待ちしておりますが、ここ数年部員確保もままならない状態です。が、復活を目指しOB総力を挙げ奮起しているところであ

ります。

今後とも、皆様の温かいご声援お願いいたします。

東北学院大学体育会ボート部

OB会 副会長・監督 千葉 文恭

OB会の近況

各事業

仙台艇友会総会を毎年実施（2018年2月24日・個室居酒屋『亜門』）（2019年2月16日・個室居酒屋『亜門』）

活躍のOB

第11回全日本マスターズボート選手権大会 ナックルフォア(70~74歳の部) 優勝 2018年5月 会場(熊本県)

出場者(鈴木和雄、鈴木俊、千田宏、成澤礼義、伊東俊一、杉船敏彦)

現役部員について

現状現役部員は2名のみで活動もあまりできておらず、各大会への出場も厳しい状況となっております。

OB会として今後活動が活発化する事を期待し、サポートをしていきます。

東北学院大学ボート部OB・OG会

仙台艇友会事務局 渡部 正幸

ボクシング部

今年3月に卒業したOB・OGの主な就職先

- ・宮城県警 2名
- ・千葉県警 1名
- ・三井ホーム株式会社 1名

OB会の近況など

各事業

平成29年度OB総会（2017年10月28日 場所：東北学院サテライトステーション）

活躍のOB

昭和55年卒業 相馬博光氏

一般社団法人日本ボクシング連盟国際審判員として、ハバロフスク国際トーナメント（2019.2.12～2.17ロシアにて開催）に参加、大会で優れた審判員に送られるレフリー・ジャッジ優秀賞に選ばれました。

現宮城県ボクシング連盟理事長

現役部員について

今年度の目標

東北地区大学トーナメント大会 学校対抗優勝
東北総合体育大会 宮城県代表
北海学園大学・青山学院大学走期戦勝利

今年期待の選手

猪股崇文 2年 フライ級 東北総合体育大会
宮城県代表として活躍

記者 平山典明

ヨット部

OB会及び現役学生の活動状況

「躍動」第9号の創刊おめでとうございます。

昨年度はヨット部において重大な出来事がありました。

それは、「東北インカレ優勝 及び 全日本インカレ出場」です。

このことは、あの東日本大震災で船も合宿所もすべてが無くなり、呆然としていた我々ヨット部の悲願であり「ヨット部復活の目標」として掲げていたことでもありました。

その目標を「17年ぶりの東北インカレ優勝」という形で迎えることができました

思い起こせば、数年に渡る部員減少で存続の危機が迫っていたヨット部が、なんとかここまでたどり着けたのも大学の学長、学生部長をはじめ沢山の関係者からの多大なるご支援の賜物と感じております。

2年前にご支援頂いたレスキュー船「サンティアゴ」の活躍により、日々の練習の内容がより充実したことも東北インカレを優勝できた大きな要因の一つと考えております。我々OB会も現役学生もとても感謝しております。

しかし、一度の優勝だけで喜んでいるわけにはいきません。ヨット部の目標は「全日本インカレで上位入賞すること」です。そのためには地区予選である東北インカレは連続優勝する必要があります。

この躍動9号が創刊される頃には既に結果が出ていることでしょう。我々OB会と現役学生は必ずや2連覇を成し遂げているはずだと心に決めて望む所存です。

今年度の春にOB総会が開催され、宮城県在住のOBのみならず、関東エリア在住のOBにもたくさんご参加をいただきました。

ここ数年間では稀に見ない大人数でOB総会が開催できたのも、すべて現役学生も躍進が反映されているものと感じております。

今後もOB会は現役学生を後方から支援するべく一致団結して取り組み、大学の関係者様のご支援ご鞭

糧を賜りながら邁進していきたいと考えております。



2019年5月11日OB総会

今春3月卒業生（新会員）の主な就職先

- ・ 太平ビルサービス株式会社
- ・ GOLDWIN

OB会の近況など（昨年10月から現在まで）

- ・ OB総会（2019年5月11日 場所 法華クラブ仙台）

現役部員について

（1）今年度の目標

目標：東北インカレ2連覇 全日本インカレ入賞
 成績：2019年度 全日本学生ヨット個人選手権 出場2枠獲得
 470級 向口（3年）・澤田（4年）組
 470級 小野（4年）・石川（3年）組
 体育会ヨット部OB会 事務局 木村 公英

ワンダーフォーゲル部

今春3月卒業生（新会員）の主な就職先

- ・ 東日本旅客鉄道株式会社

OB会の主な活動状況（昨年10月から現在まで）

- 平成30年10月4日 秋の例会
場所：裏磐梯
- 平成30年10月14日 泉ヶ岳方位盤補修
場所：泉ヶ岳山頂
- 平成30年11月3～4日 倉石ヒュッテ祭
場所：宮城蔵王、倉石岳
- 平成30年12月9～10日 忘年会
場所：滝の原温泉「ちどり荘」
- 平成31年1月2日 OB会新年会
場所：レストラン シェルブール
- 平成31年4月20日 春の例会
場所：松島湾、浦戸諸島
- 令和1年5月18日 初夏の例会
場所：北泉ヶ岳、汜濫原
- 令和1年7月21～22日 夏の例会
場所：唐桑半島
- 令和1年10月5日 秋の例会
場所：二口山塊、大東岳
- 令和1年10月26日 秋の紅葉
場所：面白山高原～山寺

平成31年度、現役部員について

- ・ 部員数22名（男17名 女5名）
- ・ 4年、3名 3年、5名 2年、11名 1年、3名
- ・ 5月～6月にかけて一次、二次の訓練合宿、（大東岳、北蔵王～南蔵王）
- ・ 青山定期戦（倉石ヒュッテ）を経て、8月に夏合宿（南アルプス）を実施しました。

東北学院大学ワンダーフォーゲル部 OB会
 会長 河村光保



平成30年度TGスポーツOB連合会 総会 議事録

1. 日時：平成30年2月9日（金）18:00～18:30
2. 場所：仙台サンプラザ 宮城野（3階）
3. 出席：36団体

合気道部 アメリカンフットボール部 空手道部 剣道部 硬式野球部 ゴルフ部 サッカー部 山岳部 自転車競技部 柔道部 準硬式野球部 少林寺拳法部 水泳部 スキー部 スキューバダイビング部 スケート部 ソフトテニス部 卓球部 軟式野球部 バスケットボール部 バドミントン部 バレーボール部 ハンドボール部 フェンシング部 ボウリング部 ボート部 ボクシング部 洋弓部 ヨット部 ライフル射撃部 ラグビー部 陸上競技部 レスリング部 ワンダーフォーゲル部 応援団 体育会常任幹事会

欠席：4団体

弓道部 サイクリング部 自動車部 相撲部

4. 議事の経過及び結果

会則11条に基づき、高橋富士男会長が議長となり議事に入った。

議事録署名人にアメリカンフットボール部OBの亀岡幸康氏、少林寺拳法部OGの川崎綾香氏を選出した。

【報告事項】

以下の（1）から（5）について報告がなされた。

- （1）第8回TGチーム対抗ゴルフ大会の結果について

平成29年8月11日（金）に、第8回TGチーム対抗ゴルフ大会が杜の都ゴルフ倶楽部において開催された。参加人数は62名だった。

- （2）第3回スポーツ講演会の開催結果について

平成29年10月12日（木）に、第3回スポーツ講演会が押川記念ホールにおいて開催された。講師は、長谷川恒平氏（ロンドン五輪レスリング代表）で、テーマは、「夢に挑んで」、参加者数は244名だった。

- （3）会報「躍動」第8号の発行について

隔年発行として1回目となる第8号は、平成29年11月30日付で400部を発行した。

- （4）新OB会長について

剣道部	斎藤東志男 氏	⇒	酒井 俊治 氏	（昭和59年経経卒）
サッカー部	佐藤 順 氏	⇒	武田 均 氏	（昭和51年法法卒）
柔道部	遠藤 浩 氏	⇒	立谷 一郎 氏	（昭和55年経経卒）
準硬式野球部	山本 剛 氏	⇒	木皿 茂義 氏	（昭和43年経経卒）
スキューバダイビング部	武田 幸雄 氏	⇒	菊地 常義 氏	（昭和56年経経卒）
ソフトテニス部	須藤 博 氏	⇒	鍵 茂 氏	（昭和42年工機卒）
バスケットボール部	菊池 哲 氏	⇒	石山 武 氏	（昭和52年経経卒）
ボート部	鈴木 和雄 氏	⇒	伊藤 清彦 氏	（昭和55年経商卒）

- （5）新理事について

硬式野球部	佐山 和男 氏	⇒	荒浪 秀男 氏	（昭和46年経経卒）
〃	伊藤 昌俊 氏	⇒	齋藤 健治 氏	（昭和47年経経卒）

サッカー部	武田 均 氏 ⇒ 佐藤 順 氏 (昭和45年経商卒)
バスケットボール部	石山 仁 氏 ⇒ 高橋 佳嗣 氏 (昭和55年経経卒)
〃	帆足 直治 氏 ⇒ 木幡 喜行 氏 (平成7年経経卒)
ボート部	佐々木寿徳 氏 ⇒ 千葉 文恭 氏 (昭和57年経商卒)

(6) 新連絡者について

硬式野球部	伊藤 昌俊 氏 ⇒ 齋藤 健治 氏 (昭和47年経経卒)
サッカー部	武田 均 氏 ⇒ 佐藤 順 氏 (昭和45年経商卒)
少林寺拳法部	門脇 邦知 氏 ⇒ 川崎 綾香 氏 (平成29年文歴卒)
バスケットボール部	石山 仁 氏 ⇒ 帆足 直治 氏 (昭和63年法法卒)
ボート部	鈴木 和雄 氏 ⇒ 渡部 正幸 氏 (平成10年経経卒)

【審議事項】

(1) 平成29年度事業報告について (資料1)

資料を基に事務局から説明がなされた。

(1) について承認

(2) 平成29年度収支決算報告について (資料2)

資料を基に事務局から説明がなされた。

収入1,415,376円 支出1,216,086円 繰越金199,290円

続いて、廣瀬理行監事 (ワンダーフォーゲル部OB) から、1月22日に館崎智信監事 (ボウリング部OB) と会計監査を行った結果、収支決算書の記録について正確に記録していることを認めたとの監査報告がなされた。

(2) について承認

(3) 平成30年度事業計画案について (資料3)

資料を基に事務局から説明がなされた。

(3) について承認

(4) 平成30年度収支予算案について (資料4)

資料を基に事務局から説明がなされた。

収入1,480,294円 支出1,005,000円 予備費475,294円

(4) について承認

(5) 平成29年度役員改選案について (資料5、6)

資料を基に事務局から説明がなされた。改選された常任理事の任期は、平成30年1月1日から平成30年12月31日まで。

武田 均 氏 (サッカー部OB) ⇒ 立花 保夫 氏 (サッカー部OB)

伊藤 昌俊 氏 (硬式野球部OB) ⇒ 高橋 佳嗣 氏 (バスケットボール部OB)

(5) について承認

(6) 平成29年度勲功賞表彰案について (資料8)

第499号から第508号まで10件の表彰案について事務局から説明がなされた。

(6) について承認

議長は、その他の議案が無いことを確認し、本総会の議事を終了し閉会を宣言した。

平成29年度 事業報告

<平成29年1月1日～平成29年12月31日>

年	月	日	曜日	事業名	場所等
29	1	17	火	常任理事会（第1回）	TGサテライトステーション
	1	24	火	理事会（第1回）	大学8号館会議室
	2	9	木	平成29年度TGスポーツOB連合会総会 平成28年度勲功章授与式（第489号～第498号）	仙台サンプラザ
	3	2	木	学校法人東北学院創立130周年を祝う会	仙台国際ホテル
	5	14	金	東北学院創立記念式典（131周年）	ラーハウザー記念東北学院礼拝堂
	6	20	火	常任理事会（第2回）	カプリチョーザ
	8	11	金	第8回TG・チーム対抗ゴルフ大会	杜の都ゴルフ倶楽部
	9	25	月	常任理事会（第3回）	TGサテライトステーション
	10	3	火	第4回TG交流ゴルフ大会（東北学院同窓会主催事業）	仙台カントリー倶楽部
	10	12	木	第3回スポーツ講演会	押川記念ホール

平成30年度 事業計画

<平成30年1月1日～平成30年12月31日>

年	月	日	曜日	事業名	場所等
30	1	18	木	常任理事会（第1回）	TGサテライトステーション
	1	25	木	理事会（第1回）	大学8号館会議室
	2	9	金	平成30年度TGスポーツOB連合会総会 平成29年度勲功章授与式（第499号～第508号）	仙台サンプラザ
	5	15	火	東北学院創立記念式典（132周年）	ラーハウザー記念東北学院礼拝堂
	6			常任理事会（第2回）	礼拝堂
	8	4	土	陸上競技部100周年記念式典	パレスへいあん
	8	11	土	第9回TG・チーム対抗ゴルフ大会	杜の都ゴルフ倶楽部
	9			常任理事会（第3回）	
	10			第5回TG交流ゴルフ大会（東北学院同窓会主催事業）	仙台カントリー倶楽部
	10	11	木	第4回スポーツ講演会	押川記念ホール
	12			常任理事会（第4回）	
				学長との座談会	

（※常任理事会、理事会、専門委員会は必要により随時開催する。）

平成29年度 収支決算書

<平成29年1月1日から平成29年12月31日>

<収入>

(円)

摘 要	29年度 予算	29年度 決算	増減	備 考
繰越金	212,985	212,985	0	前年度からの繰越金
総会費	648,000	696,000	48,000	6,000円×116名
年会費	390,000	360,000	△ 30,000	10,000円×36団体
会報広告協賛費	140,000	55,000	△ 85,000	会報「躍動」第8号広告協賛費 (隔年発行)
預金利息	30	4	△ 26	
雑収入	130,000	91,387	△ 38,613	ご祝儀、グッズ売上等
合 計	1,521,015	1,415,376	△ 105,639	

<支出>

摘 要	29年度 予算	29年度 決算	増減	備 考
総会費	550,000	543,760	△ 6,240	
表彰費	120,000	104,924	△ 15,076	勲功章表彰経費
印刷費	280,000	345,600	65,600	会報「躍動」第8号印刷費 (隔年発行)
事業費	300,000	100,000	△ 200,000	スポーツ講演会講師謝礼
通信費	30,000	18,382	△ 11,618	各事業案内等郵送料
会議費	30,000	32,880	2,880	スポーツ講演会講師懇談会
事務費	10,000	0	△ 10,000	
委託費	50,000	50,000	0	ホームページ更新料
慶弔費	30,000	20,000	△ 10,000	
雑費	1,000	540	△ 460	振込手数料
小 計	1,401,000	1,216,086	△ 184,914	
繰越金	0	199,290	199,290	
予備費	120,015	0	△ 120,015	
合 計	1,521,015	1,415,376	△ 105,639	

平成30年度 収支予算書

<平成30年1月1日から平成30年12月31日>

<収入>

(円)

摘 要	29年度 決算	30年度 予算	増減	備 考
繰 越 金	212,985	199,290	△ 13,695	前年度からの繰越金
総 会 費	696,000	696,000	0	6,000円×116名
年 会 費	360,000	400,000	40,000	10,000円×40団体
会報広告協賛費	55,000	95,000	40,000	会報「躍動」第8号広告協賛費未納分
預 金 利 息	4	4	0	
雑 収 入	91,387	90,000	△ 1,387	ご祝儀、グッズ売上等
合 計	1,415,376	1,480,294	64,918	

<支出>

摘 要	29年度 決算	30年度 予算	増減	備 考
総 会 費	543,760	544,000	240	
表 彰 費	104,924	110,000	5,076	勲功章表彰経費
印 刷 費	345,600	0	△ 345,600	会報「躍動」第8号印刷費 (隔年発行)
事 業 費	100,000	200,000	100,000	スポーツ講演会等
通 信 費	18,382	30,000	11,618	各事業案内等郵送料
会 議 費	32,880	30,000	△ 2,880	専門委員会等
事 務 費	0	10,000	10,000	
委 託 費	50,000	50,000	0	ホームページ更新料
慶 弔 費	20,000	30,000	10,000	OB会祝賀会祝儀等
雑 費	540	1,000	460	振込手数料、その他
小 計	1,216,086	1,005,000	△ 211,086	
繰 越 金	199,290	0	△ 199,290	
予 備 費	0	475,294	475,294	
合 計	1,415,376	1,480,294	64,918	

平成29年度 T GスポーツOB連合会 勲功章表彰

No.	表彰No.	表彰者(団体)	所属	学部・学年・卒年	表彰理由
1	499	菊池 哲	バスケットボール部	昭和34文経卒	前OB会長。長年OB会会長を務められ、また、宮城県バスケットボール協会の会長も歴任された。その功績が認められ、平成29年度公益財団法人日本バスケットボール協会功労者表彰につながった。
2	500	後藤 大河	レスリング部	経済学部2年	JOCジュニアオリンピックカップ全日本ジュニアレスリング選手権大会男子ジュニアの部 フリースタイル 50kg級 第3位 (2017.4.22-23 神奈川県)
3	501	伊藤 哲夫	卓球部	昭和32文経卒	第30回全国ラージボール卓球大会 男子ダブルス160 第3位 (2017.6.29 和歌山県)
4	502	大泉 祐	レスリング部	平成9経済卒	全日本社会人レスリング選手権大会 マスターズB フリースタイル 65kg級 優勝 (2017.7.1-2 埼玉県)
5	503	成田 祐佳	少林寺拳法部	法学部3年	2017少林寺拳法世界大会 in カリフォルニア, USA 女子単演級拳士の部 最優秀賞(第1位) (2017.7.30)
6	504	鈴木遼太郎	硬式野球部	教養学部4年	投手として仙台六大学野球リーグにて大学2年時に最優秀新人賞、3・4年時には敢闘賞を受賞。一般社団法人日本野球機構主催の新人選手選択会議(プロ野球ドラフト会議)で北海道日本ハムファイターズの指名を受け入団 (2017.11.9)
7	505	剣道部	—	—	第53回全日本基督教関係大学剣道大会 女子団体戦 優勝 (2017.11.25 東京都)
8	506	及川 大輝	少林寺拳法部	文学部2年	第51回少林寺拳法全日本学生大会 段外単独演武の部 最優秀賞(第1位) (2017.11.26 東京都)
9	507	橘川 竜 小島 諒也	少林寺拳法部	法学部1年 文学部1年	第51回少林寺拳法全日本学生大会 男子初段の部 優秀賞(第3位) (2017.11.26 東京都)
10	508	橋元 秀悟	軟式野球部	法学部3年	全日本大学軟式野球国際親善大会(GUAM)に、日本代表選手として出場 (2017.12.4)

TGスポーツOB連合会 役員

<平成29年1月1日～平成30年12月31日>

顧問	松本 宣郎	東北学院理事長・大学長
	本間 良一	TGスポーツOB連合会元会長（S33文経 サッカー部）
相談役	石垣 茂光	学生部長
	菊地 雄介	体育会長
	仲嶋 一雄	TGスポーツOB連合会前会長（S41文経 ハンドボール部）
参与	加盟団体各OB会長	

役職	氏名	卒年・学科	所属部	備考
会長	高橋富士男	S45法法	柔道部	柔道部師範
副会長 (3名)	佐藤 順	S45経商	サッカー部	サッカー部OB会顧問
	菊地 祐一	S53経経	ラグビー部	ラグビー部OB会長
	高橋 公晴	S56経経	アメリカンフットボール部	アメリカンフットボール部OB会長
理事長	大友 富雄	S55経経	ゴルフ部	ゴルフ部監督
常任理事 (15名)	藤井 治夫	S45経商	ワンダーフォーゲル部	ワンダーフォーゲル部OB会幹事
	武田三子雄	S47経経	剣道部	剣道部副部長
	伏見 善成	S50経商	準硬式野球部	準硬式野球部監督
	立花 保夫	S51経経	サッカー部	サッカー部OB会
	千葉 幹雄	S53経経	自転車競技部	自転車競技部OB会副会長
	高橋 佳嗣	S55経経	バスケットボール部	バスケットボール部OB会
	松本 宏一	S56経経	スキー部	スキー部OB会副会長
	山田幸太郎	S57経経	ヨット部	ヨット部コーチ
	下山 正人	S57経経	スキューバダイビング部	スキューバダイビング部OB会事務局長
	萩生恵治郎	S57経商	ゴルフ部	ゴルフ部OB会事務局長
	増田 孝夫	S63文史	卓球部	卓球部監督
	洞口 祐一	H01法法	空手道部	空手道部OB会幹事長
	末永 隆逸	H02経経	ラグビー部	ラグビー部OB会幹事長
	平山 典明	H02経経	ボクシング部	ボクシング部OB会事務局長
福田 克俊	H05経経	軟式野球部	軟式野球部副部長	
理事	各団体から2名			
監事	館崎 智信	S52経商	ボウリング部	ボウリング部OB会幹事長
	廣瀬 理行	H17経経	ワンダーフォーゲル部	ワンダーフォーゲル部監督
事務局長	曾根 邦敏	S62文英	アメリカンフットボール部	アメリカンフットボール部副部長
事務局	阿部 文智	H09経経	柔道部	柔道部監督
	大曾根 学	H16経経	応援団	応援団監督

	団体名	OB会長	理事 (各団体2名)		連絡者	常任理事	
1	合気道部	根本 仁志	高橋 正博	岡 正記	高橋 正博		
2	アメリカンフットボール部	高橋 公晴	高橋 公晴	亀岡 幸康	佐藤浩一郎		
3	空手道部	鈴木 成久	高橋 光夫	洞口 祐一	洞口 祐一	企	洞口 祐一
4	弓道部	佐々木雅彦	熊谷 聖	平間 真	熊谷 聖		
5	剣道部	酒井 俊治	武田三子雄	熊谷 求己	熊谷 求己	財	武田三子雄
6	硬式野球部	齋藤 義晴	荒浪 秀男	齋藤 健治	齋藤 健治		
7	ゴルフ部	小田桐和久	大友 富雄	萩生恵治郎	萩生恵治郎	企	萩生恵治郎
8	サイクリング部	戸田 裕二	横山 正則	相澤 秀樹	相澤 秀樹		
9	サッカー部	武田 均	佐藤 順	立花 保夫	佐藤 順	総	立花 保夫
10	山岳部	千田 光彦	渡辺 道夫	佐藤 浩輔	渡辺 道夫		
11	少林寺拳法部	阿部二三男	櫻井和兵衛	二階堂 哲	川崎 綾香		
12	自転車競技部	小野目博昭	小野目博昭	千葉 幹雄	伊里山 豊	財	千葉 幹雄
13	自動車部	田川 順一	佐藤 正	石井 幸雄	石井 幸雄		
14	柔道部	立谷 一郎	佐藤 勇三	阿部 文智	阿部 文智		
15	準硬式野球部	木皿 茂義	伏見 善成	荒井 晶	荒井 晶	総	伏見 善成
16	水泳部	桐ヶ窪多門	石田 伸彦	井手上 喬	石田 伸彦		
17	スキー部	木村 雅之	吉田 康之	松本 宏一	松本 宏一	総	松本 宏一
18	スキューバダイビング部	菊地 常義	千葉 伸	下山 正人	下山 正人	企	下山 正人
19	スケート部	山内 浩	大澤 隆夫	早坂 利夫	大澤 隆夫		
20	相撲部	菊地 正博	大泉 貞二	嶺岸 新平	早坂 佳之		
21	ソフトテニス部	鍵 茂	伊藤 昭子	伊藤 恵一	伊藤 恵一		
22	卓球部	今野 智雄	増田 孝夫	山内 聡範	増田 孝夫	総	増田 孝夫
23	軟式野球部	菅野 昭彦	福田 克俊	鈴木 勝博	鈴木 勝博	財	福田 克俊
24	ハンドボール部	仲嶋 一雄	阿部 修	大場 敏郎	仲嶋 一雄		
25	バスケットボール部	石山 武	高橋 佳嗣	木幡 喜行	帆足 直治	総	高橋 佳嗣
26	バドミントン部	鈴木 勇治	菊地 正	志村 理智	志村 理智		
27	バレーボール部	菅野 健	高橋 純夫	山内 茂夫	山内 茂夫		
28	フェンシング部	佐藤 彰一	横田 光紀	佐藤 達	横田 光紀		
29	ボウリング部	芳賀 正良	館崎 智信	渡邊 雅司	館崎 智信		
30	ボート部	伊藤 清彦	成沢 礼義	千葉 文恭	渡部 正幸		
31	ボクシング部	小野 潔	児玉 健	平山 典明	平山 典明	企	平山 典明
32	洋弓部	高橋 充	三品 敦	森山 一輝	高橋 充		
33	ヨット部	松澤 泰通	大久保寿人	山田幸太郎	木村 公英	企	山田幸太郎
34	ライフル射撃部	三文字一郎	粟野 眞	佐久間栄造	三浦 朋徳		
35	ラグビー部	菊地 祐一	熱海 義一	末永 隆逸	山田 純	財	末永 隆逸
36	陸上競技部	金ヶ崎伸也	鈴木 浩	金ヶ崎伸也	金ヶ崎伸也		
37	レスリング部	村田 武徳	佐々木幸蔵	早坂 友行	早坂 友行		
38	ワンダーフォーゲル部	河村 光保	藤井 治夫	曳地 孝志	河村 光保	財	藤井 治夫
39	応援団	山城 正温	高橋 嘉男	本間 裕治	大曾根 学		
40	体育会常任幹事会	坪子 正博	坪子 正博	須田 充彦	坪子 正博		

2019年度TGスポーツOB連合会 総会 議事録

1. 日時：2019（平成31）年2月7日（木）18：00～18：35
2. 場所：仙台サンプラザ 宮城野（3階）
3. 出席：34団体

合気道部 アメリカンフットボール部 空手道部 剣道部 硬式野球部 ゴルフ部 サッカー部 山岳部 自転車競技部 柔道部 準硬式野球部 少林寺拳法部 水泳部 スキー部 スキューバダイビング部 スケート部 ソフトテニス部 卓球部 軟式野球部 バasketボール部 バレーボール部 ハンドボール部 フェンシング部 ボウリング部 ボート部 ボクシング部 洋弓部 ヨット部 ライフル射撃部 ラグビー部 陸上競技部 レスリング部 ワンダーフォーゲル部 応援団

欠席：6団体

弓道部 サイクリング部 自動車部 相撲部 バドミントン部 体育会常任幹事会

4. 議事の経過及び結果

会則11条に基づき、高橋富士男会長が議長となり議事に入った。

議事録署名人にレスリング部OBの早坂友行氏とアメリカンフットボール部OBの神野貴嘉氏を選出した。

【報告事項】

以下の（1）から（5）について事務局から報告がなされた。

- （1）第9回TGチーム対抗ゴルフ大会の結果について

2018年8月11日（土）に第9回TGチーム対抗ゴルフ大会を実施する計画だったが、①準備に時間的猶予がないこと、②同時期に同窓会行事等が多いこと、③猛暑時期であり開催時期変更の声があること、などから開催を見合わせ、中止とした。

- （2）第4回スポーツ講演会の開催結果について

2018年10月11日（木）に、第4回スポーツ講演会が押川記念ホールにおいて開催された。講師は、佐藤あり紗氏（リオ五輪バレーボール代表）で、テーマは、「そして今がある。」、参加者数は182名だった。

- （3）新OB会長について

サイクリング部	戸田 裕二 氏	⇒	小林 雅樹 氏	（昭和60年法法卒）
山岳部	千田 光彦 氏	⇒	佐藤 弘 氏	（昭和43年経経卒）
水泳部	桐ヶ窪多門 氏	⇒	猪狩 浩佳 氏	（平成3年経商卒）
スケート部	山内 浩 氏	⇒	常松 正敏 氏	（昭和52年経経卒）
ヨット部	松澤 泰通 氏	⇒	木村 敬一 氏	（昭和48年経経卒）
応援団	山城 正温 氏	⇒	菅原 憲美 氏	（昭和49年経経卒）

- （4）新理事について

サッカー部	立花 保夫 氏	⇒	猪股 俊典 氏	（昭和50年経経卒）
準硬式野球部	伏見 善成 氏	⇒	木皿 茂義 氏	（昭和43年経経卒）
水泳部	井手上 喬 氏	⇒	阿部 璃奈 氏	（平成23年法法卒）

- | | |
|-------|------------------------------|
| スケート部 | 早坂 利夫 氏 ⇒ 堀江 聡 氏 (昭和53年法法卒) |
| 卓球部 | 山内 聡範 氏 ⇒ 工藤 瑠哉 氏 (平成23年法法卒) |
| ボート部 | 成沢 礼義 氏 ⇒ 宮島 徹 氏 (昭和57年経経卒) |
- (5) 新連絡者について
- | | |
|--------|------------------------------|
| 準硬式野球部 | 伏見 善成 氏 ⇒ 木皿 茂義 氏 (昭和43年経経卒) |
|--------|------------------------------|

以上、(1) から (5) について了承

【審議事項】

- (1) 2018年度事業報告について [資料1]

資料を基に事務局から説明がなされた。

- (1) について承認

- (2) 2018年度収支決算報告について [資料2]

資料を基に事務局から説明がなされた。

収入1,353,295円 支出808,428円 繰越金544,867円

続いて、廣瀬理行監事（ワンダーフォーゲル部OB）から、1月30日に館崎智信監事（ボウリング部OB）と会計監査を行った結果、収支決算書の記録について正確に記録していることを認めたとの監査報告がなされた。

年会費未納団体の取扱いについて質問があり、年度内は督促するが過年度分の年会費については請求していないことが説明された。今後の取扱いについて、財務専門委員会等で検討することになった。

(2) について承認

- (3) 2019年度事業計画案について [資料3]

資料を基に事務局から説明がなされた。

(3) について承認

- (4) 2019年度収支予算案について [資料4]

資料を基に事務局から説明がなされた。

収入1,848,871円 支出1,379,000円 予備費469,871円

(4) について承認

- (5) 2019年度役員改選案について [資料5、6]

資料を基に事務局から説明がなされた。役員任期は、2019年1月1日から2020年12月31日まで。

(5) について承認

- (6) 2018年度勲功賞贈呈候補者案について [資料7]

第509号から第516号まで8件の表彰案について事務局から説明がなされた。

(6) について承認

議長は、その他の議案が無いことを確認し、本総会の議事を終了し閉会を宣言した。

2018年度 事業報告

<2018年1月1日~2018年12月31日>

年	月	日	曜日	事業名	場所等
2018	1	18	木	常任理事会（第1回）	TGサテライトステーション
	1	25	木	理事会（第1回）	大学8号館会議室
	2	9	金	平成30年度TGスポーツOB連合会総会	仙台サンプラザ
				平成29年度勲功章授与式（第499号~第508号）	
	5	15	火	東北学院創立記念式典（132周年）	ラーハウザー記念東北学院礼拝堂
	6	29	金	常任理事会（第2回）	カプリチョーザ
	8	4	土	陸上競技部100周年記念式典	パレスへいあん
	9	27	木	常任理事会（第3回）	TGサテライトステーション
	10	9	火	第5回TG交流ゴルフ大会（東北学院同窓会主催事業）	仙台カントリー倶楽部
	10	11	木	第4回スポーツ講演会	押川記念ホール
	11	10	土	バスケットボール部創部男子70周年女子50周年記念式典	仙台ガーデンパレス
11	24	土	スキューバダイビング部創部40周年記念式典	ホテル白萩	

2019年度 事業計画

<2019年1月1日~2019年12月31日>

年	月	日	曜日	事業名	場所等
2019	1	15	火	常任理事会（第1回）	TGサテライトステーション
	1	22	火	理事会（第1回）	大学8号館会議室
	2	7	木	2019年度TGスポーツOB連合会総会	仙台サンプラザ
				2018年度勲功章授与式（第509号~第516号）	
	2	12	火	2019体育会学生対象就職ガイダンス	押川記念ホール
	5	15	水	東北学院創立記念式典（133周年）	ラーハウザー記念東北学院礼拝堂
	6			常任理事会（第2回）	
	8			第9回TG・チーム対抗ゴルフ大会	杜の都ゴルフ倶楽部
	9			常任理事会（第3回）	
	10			第6回TG交流ゴルフ大会（東北学院同窓会主催事業）	仙台カントリー倶楽部
	10	5	土	柔道部創部100周年記念式典	仙台サンプラザ
	10	10	木	第5回スポーツ講演会	押川記念ホール
	11	1	金	会報「躍動」第9号発行（隔年発行）	
	11			常任理事会（第4回）	
				学長との座談会	

（※常任理事会、理事会、専門委員会は必要により随時開催する。）

2018年度 収支決算書

<2018年1月1日から2018年12月31日>

<収入>

(円)

摘 要	予 算	決 算	増 減	備 考
繰越金	199,290	199,290	0	前年度からの繰越金
総会費	696,000	654,000	△ 42,000	6,000円×109名
年会費	400,000	370,000	△ 30,000	10,000円×37団体
会報広告協賛費	95,000	70,000	△ 25,000	会報「躍動」第8号広告協賛費 (隔年発行)
預金利息	4	5	1	
雑収入	90,000	60,000	△ 30,000	ご祝儀、グッズ売上等
合 計	1,480,294	1,353,295	△ 126,999	

<支出>

摘 要	予 算	決 算	増 減	備 考
総会費	544,000	523,760	△ 20,240	
表彰費	110,000	78,300	△ 31,700	勲功章表彰経費
印刷費	0	0	0	会報「躍動」印刷費 (隔年発行)
事業費	200,000	100,000	△ 100,000	スポーツ講演会講師謝礼
通信費	30,000	20,184	△ 9,816	各事業案内等郵送料
会議費	30,000	0	△ 30,000	スポーツ講演会講師懇談会
事務費	10,000	1,860	△ 8,140	
委託費	50,000	50,000	0	ホームページ更新料
慶弔費	30,000	30,000	0	
雑費	1,000	4,324	3,324	振込手数料
小 計	1,005,000	808,428	△ 196,572	
繰越金	0	544,867	544,867	
予備費	475,294	0	△ 475,294	
合 計	1,480,294	1,353,295	△ 126,999	

2019年度 収支予算書

<2019年1月1日から平成29年12月31日>

<収入>

(円)

摘 要	前年度決算	予 算	増 減	備 考
繰 越 金	199,290	544,867	345,577	前年度からの繰越金
総 会 費	654,000	654,000	0	6,000円×109名
年 会 費	370,000	400,000	30,000	10,000円×40団体
会報広告協賛費	70,000	160,000	90,000	会報「躍動」第9号広告協賛費（隔年発行）
預 金 利 息	5	4	△ 1	
雑 収 入	60,000	90,000	30,000	ご祝儀、グッズ売上等
合 計	1,353,295	1,848,871	495,576	

<支出>

摘 要	前年度決算	予 算	増 減	備 考
総 会 費	523,760	524,000	240	
表 彰 費	78,300	100,000	21,700	勲功章表彰経費
印 刷 費	0	400,000	400,000	会報「躍動」第9号印刷費（隔年発行）
事 業 費	100,000	200,000	100,000	スポーツ講演会等
通 信 費	20,184	30,000	9,816	各事業案内等郵送料
会 議 費	0	30,000	30,000	専門委員会等
事 務 費	1,860	10,000	8,140	
委 託 費	50,000	50,000	0	ホームページ更新料
慶 弔 費	30,000	30,000	0	OB会祝賀会祝儀等
雑 費	4,324	5,000	676	振込手数料、その他
小 計	808,428	1,379,000	570,572	
繰 越 金	199,290	0	△ 199,290	
予 備 費	0	469,871	469,871	
合 計	1,007,718	1,848,871	841,153	

2019年度 T GスポーツOB連合会 勲功章表彰

No.	表彰No.	表彰者(団体)	所属	学部・学年・卒年	表彰理由
1	509	菅野 紀夫	レスリング部	昭和38経済卒	前体育会レスリング部OB会長。 東北レスリング協会会長、宮城県レスリング協会会長としてレスリング競技の普及発展等、スポーツ振興の功績 が認められ、2018(平成30)年秋の叙勲にて旭日双光章受章。
2	510	鈴木 和雄 鈴木 俊 千田 宏 成沢 礼義 伊東 俊一 杉船 敏彦	ボート部	昭和45経済卒	第11回全日本マスターズボート選手権大会ナックルフォア(70~74歳の部)優勝(2018.5.26-27熊本県)
3	511	大泉 祐	レスリング部	平成9年経済卒	2018年全日本社会人レスリング選手権大会マスターズB(41歳以上50歳以下)フリースタイル65kg級優勝 (2018.7.7-8埼玉県)
4	512	鈴木 隼輔	自転車競技部	経済学部4年	第74回全日本大学対抗選手権自転車競技大会ケイリン第2位(2018.8.17-19静岡県)
5	513	田村 誓也	少林寺拳法部	平成30経営卒	2018年少林寺拳法全国大会 in ぐんま一般男子初段・二段の部最優秀賞(第1位)(2018.10.27-28群馬県)
6	514	三膳未咲貴 千葉 周平	少林寺拳法部	教養学部4年 平成28法卒	2018年少林寺拳法全国大会 in ぐんま女子護身技法の部優秀賞(第2位)(2018.10.27-28群馬県)
7	515	加藤 凌我	軟式野球部	経済学部3年	第21回全日本大学軟式野球国際親善大会(GUAM)に、全日本代表として選出(2018.12.3-10グアム)
8	516	鈴木 秀幸	剣道部	経済学部3年	第13回全日本学生剣道オープン大会男子個人三段以上の部優勝(2018.12.15-16石川県)

TGスポーツOB連合会 役員

<2019年1月1日～2020年12月31日>

顧問	松本 宣郎	東北学院理事長・大学長
	本間 良一	TGスポーツOB連合会元会長（S33文経 サッカー部）
相談役	石垣 茂光	学生部長
	村野井 仁	体育会長
	仲嶋 一雄	TGスポーツOB連合会前会長（S41文経 ハンドボール部）
参加	与加盟団体各OB会長	

役 職	氏 名	卒年・学科	所 属 部	備 考
会 長	高橋富士男	S45法法	柔道部	柔道部師範
副 会 長 (3名)	佐藤 順	S45経商	サッカー部	サッカー部OB会顧問
	菊地 祐一	S53経経	ラグビー部	ラグビー部OB会長
	高橋 公晴	S56経経	アメリカンフットボール部	アメリカンフットボール部OB会長
理 事 長	大友 富雄	S55経経	ゴルフ部	ゴルフ部監督
常任理事 (15名)	藤井 治夫	S45経商	ワンダーフォーゲル部	ワンダーフォーゲル部OB会幹事
	武田三子雄	S47経経	剣道部	剣道部OB会相談役
	伏見 善成	S50経商	準硬式野球部	準硬式野球部監督
	立花 保夫	S51経経	サッカー部	サッカー部OB会
	千葉 幹雄	S53経経	自転車競技部	自転車競技部OB会副会長
	高橋 佳嗣	S55経経	バスケットボール部	バスケットボール部OB会副会長
	松本 宏一	S56経経	スキー部	スキー部OB会副会長
	山田幸太郎	S57経経	ヨット部	ヨット部OB会理事
	下山 正人	S57経経	スキューバダイビング部	スキューバダイビング部OB会事務局長
	萩生恵治郎	S57経商	ゴルフ部	ゴルフ部OB会事務局長
	増田 孝夫	S63文史	卓球部	卓球部監督
	洞口 祐一	H01法法	空手道部	空手道部OB会幹事長
	末永 隆逸	H02経経	ラグビー部	ラグビー部OB会幹事長
	平山 典明	H02経経	ボクシング部	ボクシング部OB会事務局長
	福田 克俊	H05経経	軟式野球部	軟式野球部副部長
理 事	各団体から2名			
監 事	館崎 智信	S52経商	ボウリング部	ボウリング部OB会幹事長
	廣瀬 理行	H17経経	ワンダーフォーゲル部	ワンダーフォーゲル部監督
事務局長	曾根 邦敏	S62文英	アメリカンフットボール部	アメリカンフットボール部副部長
事 務 局	阿部 文智	H09経経	柔道部	柔道部監督
	大曾根 学	H16経経	応援団	応援団監督

	団体名	OB会長	理事 (各団体2名)		連絡者	常任理事	
1	合気道部	根本 仁志	高橋 正博	岡 正記	高橋 正博		
2	アメリカンフットボール部	高橋 公晴	高橋 公晴	亀岡 幸康	佐藤浩一郎		
3	空手道部	鈴木 成久	高橋 光夫	洞口 祐一	洞口 祐一	企	洞口 祐一
4	弓道部	佐々木雅彦	熊谷 聖	平間 真	熊谷 聖		
5	剣道部	酒井 俊治	武田三子雄	熊谷 求己	熊谷 求己	財	武田三子雄
6	硬式野球部	齋藤 義晴	荒浪 秀男	齋藤 健治	齋藤 健治		
7	ゴルフ部	小田桐和久	大友 富雄	萩生恵治郎	萩生恵治郎	企	萩生恵治郎
8	サイクリング部	小林 雅樹	横山 正則	相澤 秀樹	相澤 秀樹		
9	サッカー部	武田 均	佐藤 順	猪股 俊典	佐藤 順	総	立花 保夫
10	山岳部	佐藤 弘	渡辺 道夫	佐藤 浩輔	渡辺 道夫		
11	少林寺拳法部	阿部二三男	櫻井和兵衛	二階堂 哲	川崎 綾香		
12	自転車競技部	小野目博昭	小野目博昭	千葉 幹雄	伊里山 豊	財	千葉 幹雄
13	自動車部	田川 順一	佐藤 正	石井 幸雄	石井 幸雄		
14	柔道部	立谷 一郎	佐藤 勇三	阿部 文智	阿部 文智		
15	準硬式野球部	木皿 茂義	木皿 茂義	荒井 晶	木皿 茂義	総	伏見 善成
16	水泳部	猪狩 浩佳	石田 伸彦	阿部 璃奈	石田 伸彦		
17	スキー部	木村 雅之	吉田 康之	松本 宏一	松本 宏一	総	松本 宏一
18	スキューバダイビング部	菊地 常義	千葉 伸	下山 正人	下山 正人	企	下山 正人
19	スケート部	常松 正敏	大澤 隆夫	堀江 聡	堀江 聡		
20	相撲部	菊地 正博	大泉 貞二	嶺岸 新平	早坂 佳之		
21	ソフトテニス部	鍵 茂	伊藤 昭子	伊藤 恵一	伊藤 恵一		
22	卓球部	今野 智雄	増田 孝夫	工藤 瑠哉	増田 孝夫	総	増田 孝夫
23	軟式野球部	菅野 昭彦	福田 克俊	鈴木 勝博	鈴木 勝博	財	福田 克俊
24	ハンドボール部	仲嶋 一雄	阿部 修	大場 敏郎	仲嶋 一雄		
25	バスケットボール部	石山 武	高橋 佳嗣	木幡 喜行	帆足 直治	総	高橋 佳嗣
26	バドミントン部	鈴木 勇治	菊地 正	志村 理智	志村 理智		
27	バレーボール部	菅野 健	高橋 純夫	山内 茂夫	山内 茂夫		
28	フェンシング部	佐藤 彰一	横田 光紀	佐藤 達	横田 光紀		
29	ボウリング部	芳賀 正良	舘崎 智信	渡邊 雅司	舘崎 智信		
30	ボート部	伊藤 清彦	千葉 文恭	宮島 徹	渡部 正幸		
31	ボクシング部	小野 潔	児玉 健	平山 典明	平山 典明	企	平山 典明
32	洋弓部	高橋 充	三品 敦	森山 一輝	高橋 充		
33	ヨット部	木村 敬一	大久保寿人	山田幸太郎	木村 公英	企	山田幸太郎
34	ライフル射撃部	三文字一郎	粟野 眞	佐久間栄造	三浦 朋徳		
35	ラグビー部	菊地 祐一	熱海 義一	末永 隆逸	山田 純	財	末永 隆逸
36	陸上競技部	金ヶ崎伸也	鈴木 浩	金ヶ崎伸也	金ヶ崎伸也		
37	レスリング部	村田 武徳	佐々木幸蔵	早坂 友行	早坂 友行		
38	ワンダーフォーゲル部	河村 光保	藤井 治夫	曳地 孝志	河村 光保	財	藤井 治夫
39	応援団	菅原 憲美	高橋 嘉男	本間 裕治	大曾根 学		
40	体育会常任幹事会	坪子 正博	坪子 正博	須田 充彦	坪子 正博		

TGスポーツOB連合会 会則

(名称・組織)

第1条 本会は、TGスポーツOB連合会と称し、東北学院大学体育会各部OB会、並びに応援団OB会、体育会常任幹事会OB・OG会を以って組織する。

(目的)

第2条 本会は東北学院スポーツの振興と発展のため、物心両面の援助を図るとともに、会員相互の融和と団結を図り母校の隆盛に寄与することを以って目的とする。

(事務局)

第3条 本会の事務局を東北学院大学内に置く。

(事業)

第4条 本会は第2条の目的を達成するため、次の事業を行なう。

1. 優秀団体、優秀選手の表彰
2. 指導者講習会
3. 体育会所属学生への指導、援助
4. 会員名簿の管理
5. 交流会
6. 会報の発行
7. その他、本会の運営に必要な事業

(役員)

第5条 本会に次の役員を置く。

1. 会長1名
2. 副会長3名
3. 理事長1名
4. 常任理事15名
5. 理事加盟各団体より2名、並びに会長委嘱の者若干名
6. 事務局長1名
7. 監事2名
8. 顧問若干名
9. 名誉会長、相談役、参与を置くことができる。

(選任)

第6条 役員を選任は次による。

1. 会長並びに理事長は理事会において推薦され総会で承認を得る。
2. 副会長は会長が指名する。
3. 理事は加盟各団体から選出された者と会長委嘱の者とし、理事会を構成する。理事会は理事長、常任理事をそれぞれ推薦、選出し、総会の承認を得る。
4. 事務局長は理事会において選出する。
5. 監事は総会において会員の中から選出する。
6. 顧問は加盟各団体から推薦された者、及び本会の発展に特に功労があった者を会長が委嘱する。
7. 名誉会長、相談役、及び参与は会長が委嘱し、総会で承認を得る。

(役員の仕事)

第7条

1. 会長は本会を代表し、会務を総理する。
2. 副会長は会長を補佐し、会長に事故ある時はこれを代行する。
3. 理事長は事業の実務の執行を指示し管理する。
4. 常任理事、及び理事は具体的な実務の執行を行なう。
5. 事務局長は本会の円滑な運営のため事務全般を担当する。
6. 監事は定時総会において監査の結果を報告する。
7. 顧問は重要事項につき会長の諮問に応じる。

(任期)

第8条 役員は2ケ年とする。但し再任を妨げない。

(会議)

第9条 本会に次の会を置く。

1. 総会
2. 常任理事会
3. 理事会
4. 専門委員会

第10条 総会は年一回開催し、会長がこれを招集し議長となる。臨時総会は必要ある時に、会長がこれを招集する。

第11条 総会は本会の最高の意思決定事項とし、次の事項を決議する。

1. 事業報告及び収支決算
2. 事業計画及び収支予算
3. その他重要な事項

第12条 常任理事会、理事会及び専門委員会は理事長が必要に応じて召集する。

第13条 総会、常任理事会、理事会の議事は、出席者の過半数を以って決定し、可否同数の場合は会長の決するところによる。

(会計)

第14条 本会の会費は、加盟各団体より年会費を徴収する。その他、助成金、寄付金を以って会の運営費に充てる。

第15条 本会の会計については、事務局で管理する。

第16条 本会の事業、会計年度は1月1に始まり同年12月31日に終わるものとする。

付 則

1. 会則の改正

本会則は昭和48年(1973)11月22日から施行する(会名称は春秋会)

平成2年(1990)2月6日、会則の一部改正(総会)

平成6年(1994)10月28日、会則一部改正(臨時総会)

会名称変更。「春秋会」から「TGスポーツOB連合会」に変更。

平成14年(2002)2月12日、会則の一部改正(総会)

副会長枠数、役員選任方法の一部改正

平成18年(2006)2月16日、会則の一部改正(総会)

幹事名称を理事名称に変更。専門委員会の設置、会計年度の変更。

平成19年(2007)2月15日、会則の一部改正(総会)

終身会費の廃止

平成20年(2008)2月14日、会則の一部改正(総会)

第2条、スポーツ推薦等と、の文言を削除

平成23年(2011)2月18日、会則の一部改正(総会)

第1条体育会常任幹事会OB・OGを加えた。

第4条会報の発行を加えた。

第6条、第7条「各部」を「加盟各団体」に変更。

第15条「体育会各部OB会、並びに応援団OB会」を「加盟各団体」に変更。

平成25年(2013)2月6日、会則の一部改正(総会)

第1条個人会員から団体に改正

第6条会員の区分を削除

2. 年会費は別に定める。
3. 表彰規定は別に定める。
4. 専門委員会規定は別に定める。
5. 慶弔規程は別に定める。

TGスポーツOB連合会表彰内規

(目的)

第1条 この内規は、TGスポーツOB連合会会則第4条第1項第1号の規定に基づき、優秀団体並びに優秀選手の表彰に関する事項を定める。

(表彰)

第2条 前事業年度において次に該当する個人並びに団体には勲功章を授与し、その栄誉を称える。

- (1) 国際大会並びにこれに準ずる大会に日本代表として出場したもの。
- (2) 全国大会並びにこれに準ずる大会において3位内に入賞したもの。
- (3) 当該競技団体の推薦により国際交流試合、海外遠征等に参加したもの。
- (4) TGスポーツOB連合会の活動に顕著な功績を残したもの。
- (5) その他、総会において認めたもの。

2 前項第1号から第4号の表彰対象者は、東北学院大学体育会会員及びその卒業生とする。

(表彰式)

第3条 表彰式は総会において行う。

(改廃)

第4条 この内規の改廃は、常任理事会及び理事会の議を経て、総会において行う。

附 則

この内規は昭和48年11月22日より実施する。

附 則

この内規は、平成29年2月9日から施行し、平成29年1月1日から適用する。



TGスポーツOB連合会
<http://www.tgaa.jp/>